

執筆者一覧 (名字五十音順)

岩崎稔	東京外国語大学名誉教授
大川正彦	同 大学院総合国際学研究院
大竹美由紀	同 大学院博士後期課程
加藤玄	日本女子大学文学部
金沢百枝	多摩美術大学芸術学科
苅部直	東京大学法学部
川本隆史	東京大学および東北大学名誉教授
菊地重仁	東京大学大学院人文社会系研究科
鞠承仁	同 大学院総合文化研究科博士課程
草生久嗣	大阪公立大学大学院文学研究科
疇谷憲洋	大分県立芸術文化短期大学国際総合学科
阪本尚文	福島大学行政政策学類
鈴木茂	東京外国語大学名誉教授
高橋一樹	明治大学文学部
立石博高	東京外国語大学名誉教授
千葉敏之	同 大学院総合国際学研究院
照井美優	東京大学大学院総合文化研究科博士課程
中野敏男	東京外国語大学名誉教授
野本京子	同
藤崎衛	東京大学大学院総合文化研究科
古川高子	東京外国語大学世界言語社会教育センター
三島憲一	大阪大学名誉教授
矢崎未来	東京外国語大学大学院博士前期課程
吉田ゆり子	同 名誉教授
渡辺恭彦	大阪産業大学経済学部

編集後記

『クアドランテ』第28号をお届けいたします。

去る9月、本学名誉教授でポルトガル史・ブラジル史研究の第一人者、金七紀男先生ご逝去の報にふれました。そして10月には、近代日本思想史を専門とする、私たちの同僚にして畏友である米谷匡史さんご逝去の急報にもふれることとなりました。本号では、お二方それぞれにゆかりのある研究者のみなさまが、思考を通いあわせたかけがえのない記憶をたどり、追悼の一文を寄せてくださいました。この場を借りまして、金七紀男様、米谷匡史様の安らかなるご永眠を心よりお祈り申し上げます。

本号では、中野敏男先生が2024年に公刊された『継続する植民地主義の思想史』の合評会記録に加え、一昨年に本学を会場として開催された日本西洋史学会研究大会のシンポジウム記録も、独立の小特集として掲載しております。加えて、所員・大学院生の研究成果にあたる論文、書評論文、研究ノート等も、例年通りの枠組で寄稿されました。

本誌のいっそうの充実に向けて、来年度も海外事情研究所にて多くの研究企画を開催することができればと考えております。みなさま、どうぞよろしく願いいたします。

(海外事情研究所長 真島一郎)